

平成27年度における大分県新環境基本計画の実施状況について

大分県環境基本計画の実施状況

資料 3

大分県新環境基本計画（平成24年3月改訂）概要図

計画の性格・役割

- 環境基本法 大分県環境基本条例第9条
- 環境保全に関する長期的な目標及び施策の基本的方向
 - 県長期総合計画の部門計画
 - 「ごみゼロおおいた作戦」の推進プラン

目指すべき
環境の将来像

天然自然が輝く 恵み豊かで美しく快適なおおいた

計画期間

○平成17年度～平成27年度（11年間）

基本目標	(基本目標1) 豊かな自然との共生と快適な地域環境の創造	(基本目標2) 循環を基調とする地域社会の構築	(基本目標3) 地球環境問題への取組の推進	(基本目標4) 環境・エネルギー産業の育成	(基本目標5) すべての主体が参加する美しく快適な県づくり
施策	1. 豊かな自然や生物多様性の保全 ○自然公園等の保護・保全 ○自然景観の保全と活用 ○多様な生態系の保全 ○森林の保全 ○水辺の保全 ○自然とのふれあいの推進と適正な利用	1. 大気環境の保全 ○大気環境保全対策の推進 ○地域の生活環境保全対策の推進 2. 水・土壌・地盤環境の保全 ○水環境保全対策の推進 ○土壌環境保全対策等の推進	1. 温室効果ガスの排出源対策の推進 ○家庭部門における二酸化炭素の排出抑制対策の推進 ○業務部門における二酸化炭素の排出抑制対策の推進 ○運輸部門における二酸化炭素の排出抑制対策の推進 ○低炭素・グリーン社会を目指したまちづくりの推進 ○エネルギー利用の効率化とその他の取組 2. エコエネルギーの導入促進 ○エコエネルギーの導入支援 ○エコエネルギーの普及啓発	1. 環境・エネルギー技術への挑戦 ○新エネルギーの技術・製品開発の支援 2. 環境・エネルギービジネスの拡大 ○新エネルギーの事業化の支援 ○循環型環境産業の育成	1. 自発的な環境保全活動の促進 ○自発的な活動の支援 ○地域が連携した活動の促進 ○県・市町村の率先行動の促進
	2. 快適な地域環境の保全と創造 ○ゆとりある生活空間の保全と創造 ○美しい景観の形成 ○身近な緑の保全と創造 ○身近な水辺の創造 ○農山漁村の持つ多面的機能の維持・再生 ○歴史的・文化的遺産の保存と活用	3. 化学物質等への環境保全対策 ○環境リスクの低減及びリスクコミュニケーションの推進 ○環境監視と調査研究の充実 ○放射線の監視体制の充実	3. 二酸化炭素の吸収源対策の推進 ○森林の適正な管理・保全 ○県民総参加の森林づくりの推進 ○県産材の利用拡大	3. 企業の環境活動の促進 ○省エネルギー・低炭素化機器の導入促進 ○企業の環境対策への取組の支援	2. 豊かな環境を守り育てる人づくり ○推進基盤の整備 ○多様な場における環境教育・学習の推進 ○環境人材の育成と活用の推進
	3. 温泉の保護と利用 ○温泉の資源保護 ○多目的利用と温泉地づくり	4. 廃棄物・リサイクル対策 ○3R(リデュース・リユース・リサイクル)の推進 ○廃棄物の発生抑制と適正処理 ○バイオマス等の循環資源の利活用	4. その他地球規模の環境問題への対策 ○フロン等オゾン層破壊物質の回収対策 ○酸性雨対策		
基盤的施策の推進 (環境影響評価の推進、環境に配慮した取組の推進、公害紛争等の適正処理)					

計画の進行管理

○環境指標(60項目)とその達成目標の設定、毎年度、進捗状況を把握・確認し、検証

○進捗状況の報告→環境施策への意見の反映
 ・県議会
 ・県環境審議会、ごみゼロおおいた作戦県民会議

○公表
 ・環境白書、県ホームページ

大分県新環境基本計画の実施状況について(平成27年度)

本県では、「天然自然が輝く 恵み豊かで美しく快適なおおいた」を実現するため、各部局が連携しながら環境関連事業を展開しています。

平成27年度は、平成17年度から推進してきた「大分県新環境基本計画」の最終年度にあたります。この間に「ごみゼロおおいた作戦」をはじめとする様々な環境施策を展開し、県民一斉ごみゼロ大行動の参加者数が当初の3倍に増加するなど県民の意識も高まり、一定の成果を挙げてきました。

一方で、「愛知目標」を踏まえた生物多様性等の保全、豊かな水環境の創出、顕在化する地球温暖化問題への対応、地域で活動する環境保全団体の活性化など環境を取り巻く状況も大きく変化してきました。

このような情勢を踏まえ新たな視点から、平成28年3月に「第3次大分県環境基本計画」を策定しました。

今後とも恵み豊かな自然環境を次世代に継承するため、持続可能な循環型社会の構築に向けて取組の一層の推進を図っていきます。

1 計画に定めた環境指標の評価結果

区分	指標 項目数	A		B		C	
		項目数	割合 (%)	項目数	割合 (%)	項目数	割合 (%)
合計	60	29	48	28	47	3	5
基本目標 1	18	11	61	7	39	0	0
基本目標 2	20	7	35	12	60	1	5
基本目標 3	10	3	30	5	50	2	20
基本目標 4	5	5	100	0	0	0	0
基本目標 5	7	3	43	4	57	0	0

○評価 (A・B・C) の区分について

- ・「A」 平成27年度の目標値を達成している場合
- ・「B」 平成27年度の目標値を70%以上達成している場合
- ・「C」 平成27年度の目標値の70%未満である場合 (削減する指標項目については基準年度の実績値を上回る場合)

2 基本目標ごとの取組の概要

[基本目標 1] 豊かな自然との共生と快適な地域環境の創造

平成25年9月に姫島村、豊後大野市の日本ジオパーク認定を受けたジオパークの取組については、その活動を持続可能なものにするためフォーラムの開催など情報発信を強化したほか、学術研究の充実を支援するため、学術研究論文等の募集や大学等による巡検の誘致などを行いました。

また、生物多様性を取り巻く状況の変化等に対応し、生物多様性の保全と持続可能な利用を目指した取組をさらに進めるため、「第2次生物多様性おおい県戦略(2016-2020)」を策定しました。

温泉については、再生可能エネルギーの普及促進という社会的要請を踏まえ、新たに有限な温泉資源を保護し、持続可能で、かつ、安全・安心な温泉利用を推進することを目標とする「おおい温泉基本計画」を策定しました。

さらに、県営都市公園において、NPO法人等に委託し、木材や竹材を利用した工作や調理等の体験を通じて自然の恵みを体感するとともに、講義や植生調査体験を通じて里山や竹林復元・保全への理解を深めることで、県民の自然環境保全への意識の醸成を図りました。

[基本目標 2] 循環を基調とする地域社会の構築

豊かな水環境創出のため、筑後川等4つのモデル河川において流域会議を設立し、河川ごとの取組を支援することにより流域住民の親水意識の向上を図ったほか、泡発生メカニズム調査の実施や新たな水質指標「清流度」を活用した取組を行い、水環境保全活動を拡充・展開していくための体制を整えました。

PM2.5対策については、発生源の推定や発生量の推計に資するため新たに成分分析機器を整備しました。

産業廃棄物については、巡回監視やスカイパトロールの実施に加え、新たに不法投棄防止用フェンスを設置し、不法投棄・不適正処理防止対策を講じました。

また、下水道、農業・漁業集落排水、浄化槽等による生活排水処理率は全国平均と比べて依然として低い状況にあり、早急な整備が求められるとともに、施設の老朽化に伴う改築更新、浸水対策、南海トラフ巨大地震等に備える地震・津波対策など未普及対策以外の費用が増加している状況を踏まえ、さらに効率的な生活排水処理対策を推進するために「大分県生活排水処理施設整備構想2015」を新たに策定しました。

[基本目標 3] 地球環境問題への取組の推進

家庭部門においては、省資源・省エネルギー型ライフスタイルを普及啓発するため、各家庭に応じた省エネ対策をアドバイスする「うちエコ診断」を151件実施するとともに、パソコンやスマートフォンからより気軽にエコ診断を受診できるよう27年8月末から「大分版Web家庭のエコ診断」を実施しました。業務部門では、省資源・省エネルギー型ワークスタイルの普及啓発をはじめ、高効率の省エネ機器等の導入を促進するため、事業所向け省エネ診断を81件実施しました。運輸部門では、「エコ通勤割引」を実施し、延べ781人の利用があり、公共交通機関の利用促進を図りました。また、28年3月には「第4期大分県地球温暖化対策実行計画」を策定しました。

今後も、環境マネジメントシステム「エコアクション21」の導入促進、九州版炭素マイレージ制度の普及などにも取り組み、県民総参加の地球温暖化対策を推進していきます。

[基本目標 4] 環境・エネルギー産業の育成

地熱・温泉熱エネルギーの有効利用を目的に、県農林水産研究指導センター農業研究部花きグループ（別府市）に設置した「湯けむり発電システム」とあわせて、農業ハウスの冷暖房を行う地熱利用型の「スマート農業ハウス」が平成27年8月に完成しました。今後は地熱利用の普及拠点としての役割を果たすことが期待されています。

また、「再生可能エネルギー日本一」の県として、新エネルギーの導入や省エネルギー対策を後押しするため「新エネ・省エネコーディネーター」を設置しました。本県の強みを生かしたエネルギー関連産業の集積を加速化するとともに、有望分野への新たな取り組みへと連鎖されることで、県内エネルギー関連産業の成長を促進させました。

一方、コンビナート立地企業の国際競争力強化を図るため、大分コンビナート競争力強化ビジョンに沿って、コンビナート内のエネルギー・副生成物の最適化などの検討を進めました。

[基本目標 5] すべての主体が参加する美しく快適な県づくり

「安心・活力・発展プラン2015」が平成27年10月にスタートしたことを受け、「ごみゼロおおいた作戦」を地域活性化型の「おおいとうつくし作戦」へと移行させました。

また、県民の環境意識を高め、主体的に行動できる人材を育成するため、「第2次大分県環境教育等行動計画」を策定しました。また、専門分野の環境教育アドバイザーを137団体に派遣し、30か所で幼児向けに環境劇を実施したほか、環境学習用DVDの制作や県庁ホームページの環境学習サイトに新たにエコクイズを設けるなど、環境について関心や理解を深める機会の充実を図りました。

さらに、森林環境保全基金を活用した学習機会の提供や森林環境学習指導者の派遣により、自然体験活動・宿泊体験活動の促進を図るとともに、香々地青少年の家の森林を県北地域の森林環境学習の拠点「学びと健康の場」として再整備しました。

環境指標一覧

I 豊かな自然との共生と快適な地域環境の創造

	指標項目	単位	基準年度	目標値	実績値	達成率	評価	担当課
			H16	H27	H27		A・B・C	
1	自然公園指導員の委嘱数	人	56	70	79	112.9%	A	自然保護推進室
2	景観行政団体	団体	2	15	14	93.3%	B	都市・まちづくり推進課
3	鳥獣保護区特別保護地区の指定箇所数	箇所	10	現状を維持	9	90.0%	B	森との共生推進室
4	特に保護が必要な希少野生動植物の指定数	種	-	20	21	105.0%	A	自然保護推進室
5	生物多様性ホームページコンテンツ数	個	-	17	19	111.8%	A	自然保護推進室
6	森林面積(民有林)	千ha	402	現状を維持	402	100.0%	A	林務管理課
7	間伐面積	ha/年	-	7,000	5,944	84.9%	B	森林整備室
8	河川整備計画策定箇所数	水系	8	20	20	100.0%	A	河川課

	指標項目	単位	基準年度	目標値	実績値	達成率	評価	担当課
			H16	H27	H27		A・B・C	
9	グリーン・ツーリズム宿泊延べ人数	人	-	23,600	25,207	106.8%	A	観光・地域振興課
10	一人あたりの都市公園面積	m ² /人	10.8	13	13.2	101.5%	A	公園・生活排水課
11	電線類の地中化延長	km	41	65	65.7	101.1%	A	道路保全課
12	都市計画区域内道路における道路緑化率	%	21.3 (H15)	24.7	24.3	98.4%	B	道路建設課
13	人工海浜の箇所数	箇所	4	6	5	83.3%	B	港湾課
14	中山間地域等直接支払制度協定締結面積(中山間地域等直接支払制度における集落協定締結面積割合)	ha (%)	13,850 (75.0)	16,100 (85)	15,117 (80)	93.9% (94.1%)	B	地域農業振興課
15	漁場再生面積	ha	-	19,000	25,310	133.2%	A	水産振興課
16	国、県指定文化財件数	件	835	900	899	99.9%	B	文化課
17	県立歴史博物館、県立先哲史料館、埋蔵文化財センターの入館者及び訪問講座等の受講者数	人	-	100,000	107,933	107.9%	A	文化課
18	モニタリングを行う源泉数	孔	9	16	22	137.5%	A	自然保護推進室

II 循環を基調とする地域社会の構築

	指標項目	単位	基準年度	目標値	実績値	達成率	評価	担当課
			H16	H27	H27		A・B・C	
19	光化学オキシダント環境基準達成時間率	%	95.2	98	93.7	95.6%	B	環境保全課
20	低公害車の普及率	%	18.5	48 (H26)	10.15 (H26)	21.1%	C	環境保全課
21	渋滞対策が必要な箇所数	箇所	22	5以下	5	100.0%	A	道路建設課
22	道路交通騒音の環境基準達成率	%	-	96	94.6	98.5%	B	環境保全課
23	一般環境騒音の環境基準達成率	%	85.7 (H15)	100	84.2	84.2%	B	環境保全課
24	海域の環境基準達成率	%	76.2	100	90.5	90.5%	B	環境保全課
25	河川の環境基準達成率	%	100.0	100	97.7	97.7%	B	環境保全課
26	生活排水処理率	%	58.6	73.1	73.6	100.7%	A	公園・生活排水課
27	地下水水質調査地点数 (累計)	地点	2,119	3,400	3,390	99.7%	B	環境保全課
28	化学物質の移動量・排出量	t	2,949.5 (H15)	可能な限り 削減	3,982 (H26)	-	A	環境保全課

	指標項目	単位	基準年度	目標値	実績値	達成率	評価	担当課
			H16	H27	H27		A・B・C	
29	ダイオキシン類の環境基準達成率	%	-	現状を維持	100	100.0%	A	環境保全課
30	化学肥料の使用量	t	7,919 (H15)	4,300以下 (H26)	4,506 (H26)	95.2%	B	地域農業振興課
31	農薬の使用量	t	2,496 (H15)	2,040以下 (H26)	1,216 (H26)	140.4%	A	地域農業振興課
32	一人一日当たりごみ排出量	g/人・日	1,116 (H15)	890以下 (H26)	957 (H26)	92.5%	B	廃棄物対策課
33	一般廃棄物リサイクル率	%	16.7 (H15)	22.9 (H26)	20.1 (H26)	87.8%	B	廃棄物対策課
34	産業廃棄物リサイクル率(動物のふん尿及び鋳さいを除く)	%	31.0 (H12)	54.9 (H25)	56.9 (H25)	103.6%	A	廃棄物対策課
35	産業廃棄物最終処分率	%	-	2.1以下 (H25)	2.27 (H25)	91.9%	B	廃棄物対策課
36	廃棄物系バイオマス利用率	%	69 (H15)	93 (H27)	84.3 (H26)	90.6%	B	農村整備計画課
37	未利用バイオマス利用率	%	67 (H15)	81 (H27)	72.9 (H26)	90.0%	B	農村整備計画課
38	エネルギー利用量(原油換算)	万kl	4.4 (H15)	5.6 (H27)	7.3 (H26)	130.4%	A	農村整備計画課

Ⅲ 地球環境問題への取組の推進

	指標項目	単位	基準年度	目標値	実績値	達成率	評価	担当課
			H16	H27	H27		A・B・C	
39	家庭部門における二酸化炭素排出量	千t-CO ₂	1,391 (H14)	1,342以下 (H25)	2,004 (H25)	50.7%	C	うつくし作戦推進課
40	業務部門における二酸化炭素排出量	千t-CO ₂	1,268 (H14)	1,291以下 (H25)	2,172 (H25)	31.8%	C	うつくし作戦推進課
41	運輸部門における二酸化炭素排出量	千t-CO ₂	2,670 (H14)	2,693以下 (H25)	2,785 (H25)	96.6%	B	うつくし作戦推進課
42	省エネ診断受診数	件	-	1,060	1,565	147.6%	A	うつくし作戦推進課
43	クリーンエネルギー自動車の導入台数	台	-	55,800	54,685	98.0%	B	工業振興課
44	レジ袋削減枚数	万枚	-	9,780	8,208	83.9%	B	うつくし作戦推進課
45	エコエネルギーによる化石燃料代替効果	万kl	45.5	63.7	84	131.9%	A	工業振興課
46	住宅用太陽光発電施設設置数	件	2,784 (H15)	32,000	30,830	96.3%	B	工業振興課
47	育成複層林面積	ha	623	20,000	18,369	91.8%	B	林務管理課
48	森林ボランティア活動への参加者数	人/年	6,848	13,000	13,083	100.6%	A	森との共生推進室

IV 環境・エネルギー産業の育成

	指標項目	単位	基準年度	目標値	実績値	達成率	評価	担当課
			H16	H27	H27		A・B・C	
49	県支援による新エネ研究開発・事業化件数(累計)	件	-	20	35	175.0%	A	工業振興課
50	県支援による廃棄物再生利用施設導入件数(累計)	件	-	25	34	136.0%	A	工業振興課
51	大分県リサイクル認定製品地方公共団体利用件数	件	7	500	4,381	876.2%	A	うつくし作戦推進課
52	県支援による省エネ機器等導入件数(累計)	件	-	46	114	247.8%	A	工業振興課
53	ISO14001、エコアクション21登録件数(累計)	件	-	220	225	102.3%	A	工業振興課

V すべての主体が参加する美しく快適な県づくり

	指標項目	単位	基準年度	目標値	実績値	達成率	評価	担当課
			H16	H27	H27		A・B・C	
54	ごみゼロ隊登録数	団体	1,083	2,000	1,996	99.8%	B	うつくし作戦推進課
55	ごみゼロ行動への参加者延人数	人	117,419	400,000	361,406	90.4%	B	うつくし作戦推進課
56	夏の夜の大作戦(キャンドルナイト)への参加施設数	施設	475	2,800	3,053	109.0%	A	うつくし作戦推進課
57	エコおおいた推進事業所数	件	-	1,100	1,012	92.0%	B	うつくし作戦推進課
58	環境関連の県ホームページ年間アクセス数	件	-	405,300	676,519	166.9%	A	うつくし作戦推進課
59	環境基本計画策定市町村数	市町村	-	13	10	76.9%	B	うつくし作戦推進課
60	環境教育アドバイザー派遣団体数	団体	36	100	137	137.0%	A	うつくし作戦推進課